

自ら学び方を決定し、問題解決に向けて行動できる児童の育成

ー 小学校算数科における環境の構成の工夫を通して ー

研究構想図

長期研修員 武井 幸子

<教師の願い>

- ・ どうしたら解決できるかを考えて自ら行動できる人になってほしい
- ・ 教師が教えるのではなく、児童が「やってみよう」と自ら問題解決に向けて取り組んでほしい

<国、県の課題>

- ・ 教師が「～させる」授業から児童が「～する」授業への転換
- ・ ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成

<児童の実態>

- ・ 新たな問題の解決方法を考え、自ら問題解決することが苦手

環境の構成の工夫

自由進度学習 ガイダンス

チャレンジタイムって何？

一人一人がよりよい学習方法を選びながら、自分で見通しをもってめあてを解決したり、**自分に合った**勉強をしたりする時間のこと。

自分のペースを大事にしながら学習を進めていきましょう。

どうしてチャレンジタイムをするの？

自分で学ぶことができるようになってほしいからです。

自分に合った学習方法を見つけ、**自分で考える力**が身につきます。

誰と
相談して
もいいん
だ！

この式で
計算でき
たけど少
し心配か
も…

| | | |
|---------|-----------|-----------|
| 説明できる | 教えてほしい | 相談したい |
| 相談したい | できたけど少し心配 | 自分で考えたい |
| 自分で考えたい | 相談したい | できたけど少し心配 |

ねらいに向かっ
ているみたいだから
このまま任せよう

同じ考えだけど説明
の仕方が違うね

教師の支援

学習状況の 見える化

学び方の例

誰と？

一人

ペア

グループ

全員

学び方の例

どうする？

書く

読む

調べる

考える

話し合う

聞く

私は友達と
考えよう！

学び方の 提示

復習コーナー

前にやったやり方
が使えるんだ

学びやすい 空間づくり

それで解けるかも！

お助けコーナー

教師の支援

お助けカードを見に
来た児童同士で話し合
いが始まるように黒板に
掲示しよう

多様な学び方を知り、自分に合った学び方を選択して
主体的に問題解決する児童

青 下の図は、群馬県と栃木県と茨城県の面積と人口を表したものです。どの県が一番こんでいますか。



赤 同じねだんのコピー機A、Bがあります。Aのコピー機では、15分で270まいコピーできます。Bのコピー機では、6分で120まいコピーできます。どちらのコピー機を買うとお得ですか。



① 単位量当たりの大きさを使って比べられるかな？

群馬と栃木は人口同じで面積がでまいるから群馬がこんでいる。群馬と茨城。1人あたりの面積。1kmあたりの人数。速くコピーできる。1分あたりのまい数。1まいあたりの時間。

児童が青と赤のどちらの問題から解くかを決められるようにしよう



全体で見通しを共有し、個別追究の時間で自分の考えをもつ

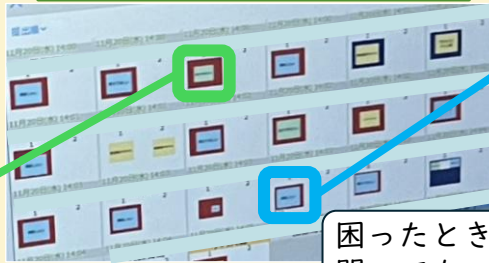
チャレンジタイム

学習状況の見える化

自分で考える



選んだ問題をどのように解決していくかを示す



困ったときは先生に聞いてもいいんだよね

相談したい



数直線は書けたけど、どうやって式を立てるんだっけ？

学び方コーナー

悩んだり困ったりしたときは…

同じ考えの人と話し合う
ちがう考えの人と話し合う
教科書やデジタル教科書を見る
ノートをふりかえる
先生に質問する

割り切れないんだけど、どうしたらいいのかな？



比べ方が違うと、四捨五入する位も違うみたいだけどなんで？



学びやすい空間づくり

黒板のお助けコーナーに集まった児童同士で話し合い



そうか！何倍かを書くと式が立てられるのか



1分当たりの枚数が多いほうがたくさんコピーできてお得だよ

同じ考え方の児童と確認してるな
違う考え方の児童とつなげたら、計算の仕方の違いに気付けるかも



成果

- ・ 学び方を自己決定し、問題解決に向けて粘り強く取り組む姿が多く見られた。
- ・ 学習状況の見える化、カードの配置などの環境の構成により問題解決に向けた必要感のある対話が多く見られた。

課題

- ・ もっと子供を信じて、任せる時間を十分に確保できるようにする。
- ・ 児童が目的を意識して学び方を選択できるようにするとともに、教師が学び方を価値付けられるようにする必要がある。

提言

- ・ 「児童に教えるために準備する」を「児童が生き生きと学ぶために準備する」と視点を換え、普段の授業の中に短時間でも自由進度学習を取り入れてみましょう。
- ・ 児童が選択する機会を増やし、自ら問題解決する力を育てていきましょう。